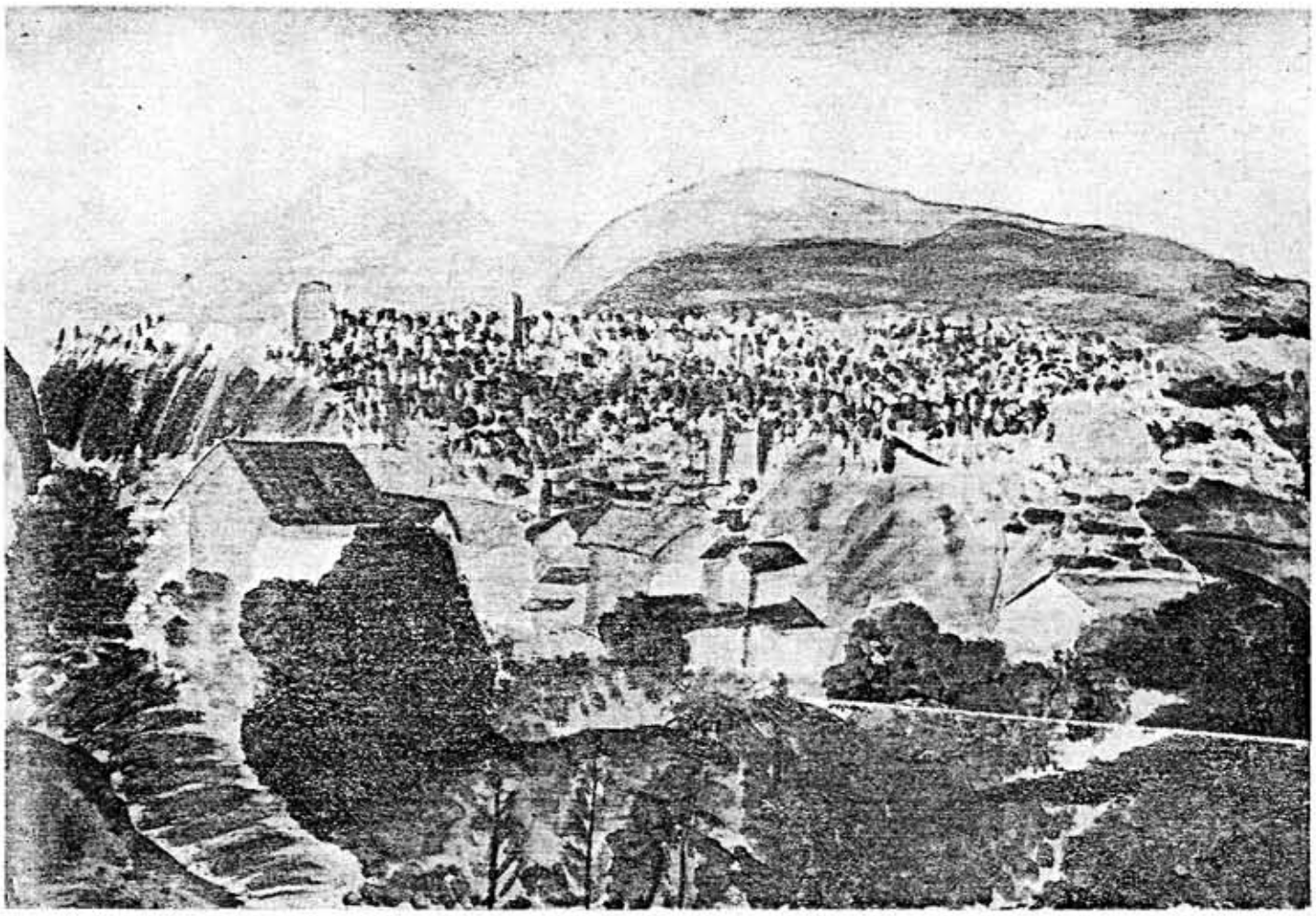
市制特集号

広報 向日市

発行
No. 98 昭和47年10月1日

■発行 京都府向日市役所
■編集 秘書人事課広報係
■電話 075(931)1111



# 新生〝向日市〟誕生

1972年10月1日、きょうここに向日市が誕生いたしました。

向日市は、緑豊かな市として、この前途は洋々たるものがあります。

向日市が誕生した今、わたくしたちはこれからの郷土〝向日市〟を、住民のみなさんとともに考え協力し、明るく、住みよい、豊かな都市づくりに発展させていきましょう。

＝左の絵は、乙訓中学校2年熱田陽子さんの絵です。＝

## 市制施行にあたって

### 「緑と太陽の豊かな文化都市」を建設

向日市長 中山仙三

限りない可能性と躍動を秘め、新たな希望に満ちた向日市の誕生を迎え、みなさまとともに心からお祝い申し上げます。

ご承知のように、向日市は、古くは長岡京として、約十年の間、政治、経済、文化の中心地として繁栄した地であり、明治二十二年四月一日に町制施行になって以来、約八十三年の歴史を有し、そのため、地理的好条件と先輩諸氏の英知と努力、住民各位の深い、ご理解とご協力によりまして、着実な発展を遂げてまいりました。

これら先人の業績と努力の累積を基盤として、今日の向日市の誕生を迎えましたことは、よろこびにたえません。

ことに、昭和三年新京阪鉄道の開通を契機に、京阪神の近郊住宅都市として、発展を続け、近年来の高度経済成長に伴って、急速に都市化が進展してまいったのでありますが、

めざましい社会経済の発展に即応するためには、高度な行政水準が、要請されるのであります。

したがいまして、近隣市、長岡京市、大山崎町が一体となって、住みよい、豊かな、そして自然と調和のとれた地域社会の実現に努力し、まい進することが、現在の向日市に課せられた最大の使命であると存じます。

幸い、新生向日市は、西に緑の丘陵地帯を臨み、京阪神を結ぶ重要な位置にあり、この恵まれた条件を十分生かすべく、基本構想を柱として、合理的な土地利用計画を進め、生活基盤の整備を行なうとともに、住民福祉の増進のための諸施設を充実し、「緑と太陽に恵まれた、豊かな文化都市」建設を、京都府はじめ、関係方面のご指導を得ながら、住民のみなさんとともに、民主的に進めたく存じます。

今後ともより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、市民のみなさまのご繁栄、ご発展を祈念いたしまして、市制施行のごあいさつといたします。

### 暮らしを守る地方自治の実現を

京都府知事 橋川武三

向日市が、本日、誕生しましたことを住民のみなさんとともにお喜びいたします。

きょうから向日町が向日市になるわけですが、この機会に町から市になるということはどういうことであろうかを、みなさんとともに考えてみたいと思います。

府も市も町も地方自治体といわれるものですが、地方自治体は憲法にとくに規定された、住民の暮らしを守るための組織です。そして、地方自治体の存在価値は、市とか町とかいうことよりも、その自治体がいかに住民のいのちと暮らしを守ることができるか、ということにかかっています。したがって、市になってことたれりということではなく、住民の福祉が向上してはじめて市になった意義があるわけです。

向日市の誕生を機会に住民のみなさんが、地方自治のあり方に注目され、この地域をどのように住みよい暮らしよい地域とするかについて、住民ひとりひとりが真剣にとり組んでいただきたいと思います。そうすることにより、住民のみなさんのいのちと暮らしが守られ、行政水準が向上される道が開けるのであり、そこに本当の市制施行の意義が見いだせるものと思います。

とくに、こんにち地方自治体は、過密過疎、環境保全、交通、福祉対策など多くの課題に直面しており、一方、これを支える地方財政はあまりにも貧弱であります。

住民のみなさんは、市制施行を契機に、これらの情勢を見きわめられ、一致協力されて、住みよい、明るいまちづくりにまい進されるとともに、昔から乙訓として一体的に発展してきた近隣の長岡京市、大山崎町ともいっそう協力し、乙訓共通の課題にあたられ、真の自分たちの暮らしを守る地方自治体の確立、地方自治の実現に努められんことをお願いします。

### 新しい展望に立った住みよい都市づくり

市議会議長 木村繁雄

向日市誕生にあたり、住民のみなさまに心からのお祝いを申し上げます

明治二十二年市制町村制が施行されて以来八十有余年を迎え、今日の発展をみることができ、ここに栄ある向日市の誕生をみなさまとともにお祝い申し上げることができますことは、この上もない大きな喜びでございます

わたくしたちの向日市は世界に誇る国際文化都市、京都市の西南端に接し、阪神経済圏内にあり、しかもその地理的条件や交通利便により、単に住宅都市としてではなく、近隣市町と対比してもまた歴史的な経過をふり返ってみても、真に風格と歴史ある町としての乙訓の中心となって発展してきました。

その間、幾度も厳しい試練に立たされながら、先覚者のよき指導と住民各位のたゆまざる動勉と英知により、これらの困難を乗り越えて今日の向日市に進展することができたのであります。

本日、新市の誕生を迎えることができ、ここに改めて、先輩各位並びに住民のみなさまがたに対しまして真心より感謝と敬意をはらい、わたくしたちは歴史を正しく回顧し、新しい時代への展望に立って新たな気持ちで、大いに努力しなければならないことを痛感するしだいであります。

しかしながら、今後の市勢発展のためには、外的には〝乙訓は一つ〟という方向づけがなされていると同時に、内的には住民のみなさまが念願されておりますところの生活基盤の整備の促進、生活環境の整備向上、教育施設の充実、公害対策の推進、交通安全対策など、重要な問題が山積している現状であります。

申し上げるまでもなく、わたくしたち議会活動の良否は、直ちに市行政の上に反映するものであり、とりわけ市制施行後の行政のあり方には、全住民が等しく注目と期待をよせておられるものであります。

市制施行を契機に、本市が真に住みよい近代都市として、さらに飛躍発展するためには、前途はなお多難であることは容易に予想されるところですが、わたくしたち議会人ひとりひとりが、住民の心といたしまして、新しい気持ちで最大の努力をはらい、理事者は理事者の立場においてまた、議会は議会の立場においてそれぞれ住民の意向をは握尊重をするとともに、なおかつ理事者と議会とが緊密な連けいをとりあい、住民のみなさまの福祉の増進のため、まい進しなければならないと肝に銘じるしだいであります。

市制施行にあたり、向日市が風格ある市として、より理想的に発展されますよう一層のご協力をお願い申し上げ、ここに向日市のみなさまがたのご多幸をお祈りいたしまして、お祝いのことばといたします。